

## Case 20-2016

### A 50-Year-Old Man with Cloudy Vision, Hearing Loss, and Unsteadiness

(*N Engl J Med* 2016; 374, 2586-2593)

#### プロブレムリスト

#ぶどう膜炎

#霧視、視力低下

#ステロイド不応性

#左優位の感音性難聴(眼症状と同期)

#ふらつき (眼症状と同期)

#全身 (顔面、体幹、両腕、両足に広がる紅斑・白い落屑)

#HIV 感染症 (AIDS)

#ART 治療中

#乾癬性関節炎

#増悪する関節痛

#### 病歴まとめ

AIDS、乾癬性関節炎を基礎疾患にもつ 50 歳男性が、視力低下と関節炎の増悪を呈し、その後悪化に同期して聴力低下、ふらつきを発症、悪化した。

#### 病歴考察

AIDS、乾癬性関節炎を背景にもつ 50 歳男性で、霧視・視力低下、聴力低下、ふらつきを呈した患者である。

まずは進行性の視力低下は不可逆的な失明をきたす可能性があるため早急に対処を要する。その上で、AIDS、乾癬性関節炎、その治療歴とその他の聴力、ふらつきなど神経学的症状とを結びつける病態を考える必要がある。

AIDS は多彩な感染症を呈する他、HIV 保因者は他の性感染症を呈する可能性がある。また、当勉強会では眼科の専門的診療になるべく頼らない (コンサルトに至るまでの検査前確率を上げる) 方針で議論を進めたい。